

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 ：一般国道9号 中山・名和道路	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 中国地方整備局
起終点 ：自：鳥取県西伯郡大山町八重 至：鳥取県西伯郡大山町下市		延長 ：4.3km
事業概要 ： 一般国道9号は京都市から下関市に至る延長約750kmの主要幹線道路である。 中山・名和道路は、国道9号の交通隘路区間の解消、交通安全の確保、事故・災害時におけるリダンダンシー確保などを目的とした、鳥取県西伯郡大山町八重から鳥取県西伯郡大山町下市に至る延長約4.3kmの道路である。		
H19年度事業化	H9年度都市計画決定	H20年度用地着手
H21年度工事着手		
全体事業費 ：約123億円	事業進捗率 ：25% (H22年度末現在)	供用済延長 ：0.0km
計画交通量 ：20,300～20,900 台/日		
費用対効果分析結果 (3便益)	B/C ：(3便益) (事業全体) 4.9 (残事業) 8.4	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 76/131億円 〔事業費：61/115億円〕 〔維持管理費：15/15億円〕
	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 642/642億円 〔走行時間短縮便益：459/459億円〕 〔走行経費減少便益：133/133億円〕 〔交通事故減少便益：51/51億円〕	基準年 ：平成23年
感度分析の結果 ： (事業全体) 交通量：B/C= 4.1～5.8 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C= 7.1～9.8 (交通量±10%) 事業費：B/C= 4.7～5.2 (事業費±10%) 事業費：B/C= 7.8～9.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C= 4.7～5.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C= 8.1～8.7 (事業期間±20%)		
事業の効果等 ： ①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在【鳥取-福岡線（1本/日）】 ・大山町から米子駅（特急停車駅）へのアクセスが向上 ・倉吉市から米子空港（共用飛行場）へのアクセスが向上 ②物流効率化の支援 ・倉吉市から境港（重要港湾）へのアクセスが向上 ・西伯郡大山町からの農林水産品の速達性が向上 ③国土・地域ネットワークの構築 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡 ・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上 ④個性ある地域の形成 ・大山周辺（H21年間観光入込客数122万人）、米子・皆生温泉周辺（同140万人）へのアクセスが向上 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・倉吉市から三次医療施設へのアクセスが向上 ⑥災害への備え ・鳥取県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道9号） ・緊急輸送路である一般国道9号が通行止めになった場合の代替路線を形成 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる		

